

特定非営利活動法人お口の健康ネットワーク 第24回理事会議事録

1. 日時 2020年10月3日(土) 15:00~17:20

2. 場所 朝日大学1号館(岐阜県瑞穂市穂積1851)

3. 開会 定足数報告

理事総数、出席者数は次の通りである。

理事総数：18名、出席者：16名

出席者：旭律雄*、伊佐津和朗、磯崎篤則、木村年秀*、楠本雅子、黒瀬真由美、小林崇之*、
津野敬一朗、友藤孝明、中村宗達*、長浦寛子、丸岡三紗*、宗形信司、森田学*、守屋啓吾*、
山口一朗

(事務局) 草野栄路

*：リモート参加

4. 理事長挨拶

磯崎理事長：皆様、第24回理事会にご参加いただきましてありがとうございます。今回は現地で開催すべきか悩みましたが、岐阜ではそれほど感染者が多くないこともあり、予定通り開催させていただき、明日は相田先生の講演、友藤先生の教育講演、そしてブラッシング実習も行いたいと思います。今日はたくさんの方の審議事項がございますので、皆様のご協力をお願いします。

5. 議事録署名人選出

議事録署名人を伊佐津和朗、山口一朗とすることが提案され、承認された。

6. 報告事項

6-1. 会員数(事務局)

区分		2019/7/31	入会	再入会	個人→賛助	退会	会費未納退会	2020/7/31 (第12期末)		
		第11期末①	②	③	④	⑤	⑥	①+②+③+④ -⑤-⑥	うち12期 分未納	
正会員	団体会員	388	12	1		14	13	374	19	
	個人会員	歯科医師・医師	43	0	1		4	3	37	0
		歯科衛生士	241	29	1		20	4	247	10
		他	4	1		-1 → 賛助			4	0
賛助会員		1			1			2	0	
計		677	42	3	0	-38	-20	664		

事務局より、表に基づき会員数の推移について報告があった。

6-2. 事業報告（別添資料）

事務局より総会議案に記載の事業報告の内容について報告を行った。

6-3. 決算報告（別添資料）

事務局より総会議案に記載の決算内容について報告を行った。

6-4. 認定歯科衛生士申請状況（事務局）

NPO法人お口の健康ネットワーク 認定歯科衛生士 第20回登録申請者

長浦理事より、認定歯科衛生士の登録申請者、推薦状況について報告を行った。

6-5. エビデンスの強化について（学術委員会）

友藤理事：3点報告させていただきます。（1）昨年この場で、つまようじ法実施の有無で、歯周病の治癒がどのように違うのかを、会員の皆様のご協力のもと、データを集めることを提案させていただいた。これについてはコロナ禍ということもあり、立案中となっています。（2）つまようじ法の症例報告を、今後各学会誌に行ってはどうか。（3）つまようじ法とそれ以外のブラッシングで、歯磨きする前後で唾液や口腔内細菌の変化を比較する研究は実施可能だが、予算が必要。

磯崎理事長：（3）の予算は、どれくらい必要か。

友藤理事：例えば50万、100万、150万くらいで、50万円単位くらいでおおよその予算が分かれば、その予算の範囲内で研究計画を立てたい。

黒瀬理事：（3）について、具体的な研究計画がないと皆様分かりにくいのではないか。

友藤理事：（3）については、皆様に研究計画をお示しした上で、予算等の審議をしていただければと思います。

6-6. その他

その他の報告は特に行われなかった。

7. 審議事項

7-1. 2020年7月度決算承認

事務局より報告が行われた決算内容について、全員異議なくこれを承認した。

7-2. 2021年7月度事業計画承認

事務局より、現在予定されている事業計画について報告があり、全員異議なくこれを承認した。

7-3. 2021年7月度予算承認

事務局より総会の資料に基づいて説明を行い、全員異議なくこれを承認した。

7-4. 役員を選任

(1) 理事改選について

〔新任理事候補者〕 河村啓司

現在の役員に加えて、河村氏の理事就任について提案があった。

友藤理事：河村先生の紹介をいたします。まず、以前の応用セミナーで症例報告をされ、それが面白い内容であり、好感を持ったのが第一印象でした。本会の認定医療機関でもあり、実績もあるとのことでこの度理事に推薦させていただきました。

多数の理事の賛成があり、河村氏の理事就任及び第12期までの理事の再任が承認された。

(2) 理事長及び副理事長の選出について

磯崎理事長：私がお引き受けするとすれば3期目となりますが、引き続き副理事長に森田先生、守屋先生になっていただければ、あと2年間は私が理事長としてやらせていただけるかなと考えています。また、本日の理事会でも7-7以降に皆様にディスカッションしていただきたい議案が多数あり、その際にはよろしく願いいたします。

磯崎理事長及び森田副理事長、守屋副理事長の再任が全員異議なく承認された。

7-5. 認定歯科衛生士の承認

今回申請が上がっている7名が認定歯科衛生士として承認された。

7-6. 認定歯科衛生士の更新要件について（認定委員会）

6月の理事会で検討した内容で承認された。

7-7. 2021年以降のセミナー開催について（セミナー委員会）

別紙資料に基づき、宗形理事より2021年以降のセミナー開催案について提案が行われた。

宗形理事：年4回のセミナーのうち、2回は黒瀬先生と小畑先生にやっていただいて、あとの回は理事の先生2名くらいに持ち回りで担当していただく形の改編案を出させていただきました。

磯崎理事長：9月13日にWEBでセミナーを開催し、受講者からもいろいろと意見をいただきました。それを踏まえて考えると、今後、より多くの方に知ってもらうためには、従来のセミナーに加えて、WEB限定のセミナーも開催してはどうか。案としては、丸岡さんとか、経営に関しては守屋先生とか、もちろん山本先生などにもお願いできればと考えています。また、そうやって興味を持った人が集まる場所に実習に出向いてはどうか。例えば全国の衛生士学校で訪問実習をするということもできるかもしれない。皆様からの意見も踏まえて考えたい。

楠本理事：WEBだと、症例写真が会場参加よりも見やすいといったメリットはあるが、長時間画面を見ると疲れやすい。2時間くらいのものもあってもいいかもしれない。

友藤理事：WEBでの開催には賛成だが、レコーディング機能を使えば受講者にとって便利ではないか。

黒瀬理事：それについては事前に検討したが、症例写真が多いので、今回はやめておこうということになりました。

磯崎理事長：新たに集客のためのセミナーを別途企画するという点について、皆様からの意見をいただきたい。

黒瀬理事：丸岡さんがデンタルハイジーンなどに執筆された内容が素晴らしく、丸岡さんに出ていただくと集客上のインパクトがあるのではないかと。

丸岡理事：地域に関する話もできるが、つまようじ法に関する話もネタがあるので、ぜひさせていただけたらと思います。

守屋副理事長：コロナ禍でWEB開催が増えたが、1時間～90分くらいが集中できる時間かなと思う。特に経営に関するものは短いものでよいと思う。WEBだと早朝や夜の開催も可能で、入口としてはいいと思います。

磯崎理事長：多くの先生方の賛同を得られたようですので、集客セミナーについては、その方向でいきたいと思っています。従来のセミナーについては、資料にありますように黒瀬先生と小畑先生のペア、もう一つは森田先生と開業の理事の先生方がお話をされるという方向での提案があ

りましたが、いかがでしょうか。開業の先生のどなたに講師を担当していただくかという件については、理事長に預けていただくということでご了承いただければと思います。

磯崎理事長の発言に対し、出席理事の賛同を得たので、この方向で進めることとなった。

7-8. 2021年以降のお口の健康フェスティバルについて

磯崎理事長：地域的には、西と東で交互に開催していけたらと考えている。今年中止になった長崎については、地元の先生の意向を確認して今後の開催を検討したい。

出席理事から反対意見はなく、理事長の意向通り進めることとなった。

伊佐津理事：次回予定していただいている松本では、比較的自由に研修会が開催できると思う。ただあまり新しいことをどんどん取り入れるという土地柄ではないので、かえって歯科衛生士学校にいるうちに学生さんにつまようじ法を知ってもらうという取り組みなどもいいかもしれない。

友藤理事：衛生士学校にという話があったが、できれば看護職や介護職の方向けにも広めていけばよいのではないかと。

7-9. 委員会の見直し

磯崎理事長：新たに企画委員会（仮称）を立ち上げてはどうかと考えている。具体的には、理事長と副理事長が中心となって考え、そこに下部組織（委員会）を設けていくという考え方です。いままで理事長1人の考えで動いていたのを、組織として動いていく形にしたい。

黒瀬理事：大学の先生お二人と開業の先生お一人というバランスになるので、もう1、2名開業の先生に入ってもらってもよいのではないかと。

磯崎理事長：実際に動いていただくのは、各委員会の理事の先生方になるというイメージです。大きな方針は3人で立てるという考え方です。

森田副理事長：今の委員会は一旦ガラガラポンするという意味でしょうか。

守屋副理事長：組織をまず作って何をするかと考えるよりも、今ある問題とか課題とかに沿ったプロジェクトチームを作っていくほうが、現実的な課題解決につながりやすいのではないかと。

磯崎理事長：認定委員会、セミナー委員会、学術委員会はそれぞれに動き出している。ただ、今回の集客セミナーのような案件について、理事長と事務局だけで動いていいのかということから、企画委員会というようなものを提案させていただいた。理事長、副理事長で各委員長を推薦させていただき、さらに委員長から各委員を選出するような方法を探りたい。

理事長の案に対し、出席理事の賛同を得て決定された。

7-10. 若手会員の役割について

津野理事より、前回の理事会で決定に至らなかった「評議員の新設について」の変更案として、資料に基づき提案があった。今後の委員会活動に、一般会員からもメンバーに入ってもらった案が提案された。

森田副理事長：どの学会でも若手を育てるためにメンバーに入れるようにはしている。

津野理事：いきなり理事にしてもどれだけ動いてもらえるか分からないので、まずは準理事のようなポジションを置いたほうがよいのではないかとこの考えです。

黒瀬理事：具体的にどの人をどの委員会にというのはあるのでしょうか。

津野理事：理事長と各委員長意向があるので、それが決まらなると何とも言えないと思います。

森田副理事長：考え方はよいが、これから委員に指名される先生方が本当にちゃんと動いていただけるとかが危惧される。

磯崎理事長：森田副理事長の言われる危惧もあるが、若手が丸岡さんだけでは寂しいので、委員会に入っていていただく若手メンバーを探すことについて今後前向きに進めて行くことをご承認いただけますでしょうか。

理事長の発言に対し、出席理事の賛同を得て、承認された。

7-11. 次回以降理事会・総会・研修会

(1) 日程案

2021年4月10日(土) 第25回理事会

2021年4月11日(日) お口の健康フェスティバル(松本市)

(会場案) 松本市中央公民館

松本歯科医師会館

2021年10月2日(土) 第26回理事会(朝日大学)

2021年10月3日(日) 第13回通常総会、研修会(朝日大学)

上記日程案で承認された。

(2) 内容

松本での開催については、年内に詳細を詰めることで了承を得た。

7-12. 訪問指導マニュアルについて(技術・指導委員会)

黒瀬理事：これから理事の皆さんが訪問実習を行うにあたって、ある程度共通の資料を持って講義をしたほうがよいのではないかと、標準的な指導の方法を決めたほうがよいのではないかと、いうところから始まっていると思います。症例写真やスライドについては、個別に行かれる先生のご希望に応じて提供させていただけたらと思います。会報に連載を始めた「基本のき」も実習マニュアルの一部になるのではないかと考えている。また、人数が多いところは一人では対応が難しい。

長浦理事：症例写真を希望される場所は多い。実技については以前まとめた内容を少し手直している。

磯崎理事長：マニュアルについては、皆さんに確認していただいて、なるべく早く作成したいと考えています。10人を超えるような訪問実習先については、サポートのスタッフをつけて実施する必要があると思います。その場合の追加の交通費、謝金等はケースバイケースで考えて行きたい。認定委員会からは、認定医療機関の更新の際に訪問実習受講のハードルが高いという話も出ているので、その点考慮していきたい。

7-13. 書籍の発行について

磯崎理事長：砂書房に打診をしているが、歯科医師・歯科衛生士向けの書籍としての発行を考えている。

黒瀬理事：友藤先生ご提案の、学会への投稿の症例と、書籍に掲載する写真はかぶってもよいのか。

友藤理事：学会に投稿する場合は、著作権が学会になるので、書籍に出す症例とは分けたほうが良いというのが私の考えです。

7-14. その他

黒瀬理事：歯科衛生士学校での普及の話があったが、理事の皆さんの中で歯科衛生士学校の講義をお持ちの方がいらっしゃいましたら、そこでつまようじ法の紹介なり体験ができるのではないかと思います。

丸岡理事：私が行っている学校では、多い時は学年で55人ほどいます。受け持っているのは保健指導で、つまようじ法の授業もするが、1人で全員磨こうとすると難しい。上手くできる方法があればいいなと思います。

木村理事：集客のWEBセミナーについて、見て楽しいような動画を作るといろいろなところで活用できると思います。また、「お口の健康ネットワーク」はすそ野の広いような名前の会なので、つまようじ法というピンポイントの内容のセミナーだけでなく、訪問歯科や、私達がやっているような町づくりであったり、もう少し幅広い内容を考えても良いのではないかと思います。他には、歯科衛生士会に上手く入り込めないか、岡大の卒業生をもっと取り込めないかなどとも考えています。

津野理事：来年から、多くの認定医療機関の更新が始まりますが、残念ながら大半の医療機関が、単位が取れないということでリタイアしそうです。更新は、訪問実習と、研修会かセミナーに単純に2回か3回参加すればOKというくらいに了承を得て次の委員長に引継ぎをしたいと思いますがいかがでしょうか。

木村理事：つまようじ法の技術確認さえできれば、ハードルは下げてもいいと考えています。

磯崎理事長：新しい組織のなかで、もう少し制度を単純化するという方向で、委員会にお任せしてよろしいでしょうか。書面でもう一度出させていただいて、その方向で進めるという形にしたいと思います。

認定医療機関の更新制度の修正について、磯崎理事長の提案について異議なく承認された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2020年10月3日

議長

磯崎 篤則



議事録署名人

伊佐津 和朗



議事録署名人

山口 一朗

